



Tachibana Being vol.79

WebTB WebTBはさらに充実
<http://www2.tachibana-u.ac.jp/webtb> March 2015

特集 新入生に伝えたいこと

- 02 先輩から新入生に向けてのメッセージ
- 04 地域・社会に広がる京都橘の学び
- 06 京都橘の気になる施設
- 08 クラブ&サークル紹介
- 10 たちばなの歩き方

先輩から 新入生に向けての メッセージ

待つのではなく、自ら行動を

行動しないともつたない。大学に入学して私はこう強く感じました。大学では、高校までの学びとは違い、授業を聴くことが中心ではなく、プレゼンテーションをしたり、学外に出て調査を行ったりと主体的に行動をすることがたくさんあります。また、授業以外の時間を活用して、サークルボランティアなどさまざまな取り組みへの挑戦も可能です。私も大学の授業だけでなく、サークルや国際交流などにも取り組み、さまざまな経験を通じて、多くの人たちとの交流を楽しんでいます。

大学生活では、行動すれば、自らを成長させる刺激的な出会いや経験がふれていると思います。せっかくの大学生活なので、皆さんには、失敗を恐れずたくさん挑戦してほしいですね。



現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 新4回生
すみの
角野 良尚 さん

いよいよ大学生活の始まりですね。今は新しい生活への期待や不安で一杯なのではないでしょうか。ここでは京都橘大学の先輩お二人から、皆さんへのメッセージをもらいました。

学びの対象は無量大

皆さんにとっては、京都のまちはもちろんですが、それ以外にも気になることすべてが研究対象になると思います。また、大学ではその研究の答えは一つとは限りません。どの分野においても学べば学ぶほど、さまざまな見解に出合い、興味や疑問が次々とわいてくるはずです。私は大学生でいられる時間はすごく短いと感じています。皆さんには忙しくて楽しい大学生を送り、4年間でさまざまな興味や疑問に出会ってもらいたいですね。



文学部歴史学科
新3回生
金城 憂佳 さん

角野さんの大学生活



台湾人留学生との交流



写真部と
フリーペーパー『each,』の制作活動



ゼミで修学旅行生用
ホームページを制作中

写真部の活動を通じて台湾人留学生と友達になりました！ その影響もあり、中国語に興味を持ち、2014年夏に台湾へ3週間の留学に行ってきました。写真はそのときの一枚。中国語は継続して勉強していて、春から台湾へ1年間の留学に行きます。

写真に関わる活動に積極的に参加しています。部長として携わった写真部をはじめ、『each,』というフリーペーパーの制作や他サークルの写真撮影なども行っています。写真は私が撮影した渡月橋と、写真部の集合写真。

私たちのゼミでは、修学旅行生が事前学習に活用できるよう、京都紹介ホームページの制作に取り組んでいます。私たちの学びのフィールドである京都の魅力を、全国の高校生に伝えるために奮闘中です！ 写真はゼミの懇親会での一枚。

金城さんの大学生活



オープンキャンパス
スタッフとして活動中！



2014年7月に結成した
エイサー同好会



歴史遺産めぐりを企画

2回生の春から参加しています。受験生の人たちを案内したり、イベントの司会を担当。受験生たちと話していると初心に返る気持ちになれます。他学科の友人もたくさんできました！ 写真は受付の様子。

橘祭やオープンキャンパスで演舞しています。衣装は自分たちでデザインし、手づくりしています。今は女子だけで活動していますが、男子部員も大募集中です！ かっこいい衣装を考えていますので、ぜひ一緒に踊りましょう！

休日には、歴史学科の友人たちと京都の歴史遺産めぐりをしています。文化財に詳しい人が説明してくれるので、勉強になるし、楽しいですよ。京都にはほんものの資料がたくさんあり、実際に見ることができて、とても魅力的です。

one day schedule

7:45	起床・朝食	17:00	フリーペーパー『each,』のミーティング
8:45	自宅から自転車 で出発		
9:00	授業(1・2限)	19:00	スーパーで買い物、 帰宅
12:15	昼休み(お弁当 を買って写真部 部室で昼食)	20:00	自炊して夕食
13:00	授業(3・4限)	22:00	家事、テレビ、 音楽鑑賞など
		25:00	就寝

時間割(3回生後期)

	月	火	水	木	金
1	キャリア開発講座Ⅲ	ニューズリズム研究	観光ビジネス論		
2	基礎演習Ⅳ	観光法規・経営論	観光政策論	中国語Ⅱ	まちづくりデザイン論
3	中国語Ⅱ	英語ⅣA		観光メディア論	英語ⅣB
4	キャリアコミュニケーションⅡ	観光施設論		まちづくり論	
5	キャリア開発演習Ⅲ				

one day schedule

7:30	起床・朝食	16:30	サークル活動(エイサー同好会)
8:30	自宅から大学へ 徒歩15分	20:00	サークルの みんなと夕食
9:00	授業(1・2限)		
12:15	昼休み	22:00	帰宅
13:00	授業(3・4限)	23:00	勉強
		24:00	就寝

時間割(2回生前期)

	月	火	水	木	金
1		世界史特講C 東アジア史Ⅲ		近現代史 特講C世界	
2		日本史 基礎ゼミⅠ			比較文化論
3	キャリアデザイン入門	英語ⅢA		地誌	英語ⅢB
4	古文書学AⅠ	日本史特講e 近代史		体育理論	日本史特講C 中世史
5				教育相談	

授業で学んだ経営的観点から

企業の制服 リニューアル提案

このプロジェクトは学生の主体的な学びのサポートやプロジェクトマネジメントを行う機関である「特定非営利活動法人グローバル人材開発センター」の紹介・協力により、今井ゼミの学生が株式会社塚腰運送の現在使用されている制服をリニューアルするというものです。



現代ビジネス学部
現代マネジメント学科 新3回生
堀尾 由香 さん

自分たちで企業の制服をリニューアルする——このプロジェクトの話を今井先生から聞いたとき、おもしろそうと思ったと同時に不安がこみ上げてきたことを覚えています。

プロジェクトに取り組むにあたり、私たちはまず、既存制服の調査や塚腰運送の概要・理念などの研究、また社員の方々へのヒアリング調査などさまざまなグループワークを行いました。これらをもとに行った第1回目の新制服提案（素案）では、グローバル化への対応や社員団結、顧客認知向上をねらった英語のキャッチコピーやロゴマークの作成、また心理

的要因を意識した制服カラーの変更など、幅広い視点から制服の提案を行いました。提案に際して、授業で得たマーケティングの知識をビジネスの現場で活用できたことは大変刺激的でした。また、企業の方々とお会いして、事前の研修で学んだ名刺交換方法などのビジネスマナーを実践できたことも非常に良い経験であったと感じています。

ただ、このプロジェクトはまだ途中段階で、課題もたくさん残っています。最初の提案では制服デザインの変更に目が向いてしまったので、次回は現場で制服を使用されている方々の意見をより多く

担当教員からのメッセージ

ゼミ生には今回のプロジェクトに責任を持って取り組むことにより、学内の授業では得ることができないたくさんの方々の経験を積んでほしいと思っています。

このようなプロジェクトにグループで協力して取り組むことにより、自分一人では気がつかなかった能力や弱点を認識することもあると思います。新入生の皆さんには、授業にとどまらず、学生生活のなかでさまざまなことに挑戦をして、本学を卒業するまでの間、日々新しい自分を発見してもらいたいですね。



現代ビジネス学部
現代マネジメント学科
今井 まりな 専任講師



初めての会社訪問＆名刺交換



プレゼンテーションの様子



現在使用されている制服

看護学部の学びを活かして地域の人たちと交流

たちばな健康相談

看護学部
看護学科 新3回生
山本 希美 さん



看護学部では、地域の人たちの身体計測や血圧、骨密度測定などの健康チェックを行う「たちばな健康相談」を大学祭のときに行っていて、毎年たくさんの方々が来てくださいます。私は地域の方々と交流する機会を持ちたいと思い、1回生から参加しています。1回生のときは、初めて違う世代の人たちとふれあう機会であり、実践の場でもあったので緊張しましたね。自分の担当のことで精一杯で周りを見る余裕もありませんでした。あれから1年を経て、全体の状況を見ながら、自分のするべきことを判断し、臨機応変に対応できるようになりました。また、一緒に活動している先輩を見て学ぶことが多く、勉強になります。看護学部は、先生や先輩との距離も近く、質問などもしやすい環境です。学生のことを一番に考えてくれる先生方ばかりなので、とても心強いです。

心理学的アプローチで市民生活を豊かに

守山市マーケティング調査

健康科学部
心理学科 新4回生
荒井 柁人 さん



「マーケティング調査演習」という授業の一環で、滋賀県守山市と連携して、市内のスーパーマーケットでマーケティング調査を行っています。この調査は守山市民の購買・消費活動や住環境への思いなどを調査・分析して、市に提供することで、市民のより良い生活に向けた、まちづくりに役立ててもらおう目的で行っています。プロジェクトには受講生13人でそれぞれが役割を持って取り組んでいます。私はスーパーマーケットに出向き、調査への協力依頼や、協力者への口頭インタビューを行いました。学外の見知らぬ人へのインタビューは緊張もありましたが、ふだん触れ合っことの少ないさまざまな年代の人と触れ合うことができ、非常に楽しく行うことができました。今回の経験からマーケティングの難しさや楽しさを再認識することができ、将来このような調査・分析の経験を活かせる仕事に就きたいという思いがより強くなりました。

子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えたい

ちびっ子ランド

人間発達学部
児童教育学科 新3回生
すえかた 末方 清将 さん



児童教育学科では、毎年、大学近隣の子どもたちを招いて、大学祭で「ちびっ子ランド」を開催しています。イベントの企画・運営は児童教育学科の学生実行委員が主体となり、1・2回生が全員で行います。1歳児から小学校6年生までのそれぞれの年齢にあった企画をゼミごとに考え、運営しています。昨年は、お絵描きや宝探しゲーム、輪投げ、スライムづくり、楽器づくりなどの13の企画を行いました。当日は約800人の参加があり、子どもたちの楽しそうな笑顔を見ることができて、とてもうれしかったですね。

児童教育学科は、1回生のときから子どもたちとふれあえる機会がたくさんあり、多くのことを経験できます。今後も積極的にボランティアなどに参加して、いろいろな経験をしていきたいと思っています。

私は歴史が大好きで、京都で学びたいと思い、京都橘に入学しました。京都で学ぶの魅力は、すぐ近くに文化遺産がたくさんあり、実物を見ることができることです。

歴史遺産学科の授業は、座学だけでなく、学外で学ぶ機会がたくさんあります。「地域課題研究」では、延暦寺や三千院を見学する機会がありました。見学では、お寺の方からお話を聞いたり、ふだんは見ることができない文化財が見られることもあります。私は、歴史的建造物に興味があり、さまざまな建築様式の技術を実際に見ることができて、とてもうれしかったですね。豊富な知識をお持ちの先生方に実物を見ながら解説をもらえることも、とても勉強になります。大学では、自らが学が姿勢を持つことが大事です。そうすると、さらに学びを深めることができます。

休日には御朱印めぐりをしています。卒業するまでに何冊になるか楽しみです。

女性史を中心に据えた西日本で初めての研究機関

女性歴史文化研究所

女性歴史文化研究所は、1992年に設立され日本の女性史・女性文化研究をリードしてきた研究機関です。京都橘大学の学術研究活動の中核として、多くの学術刊行物を世に出してきました。最近では、『医療の社会史―生・老・病・死―』（思文閣出版、2013年）や『表象のトランス・ジェンダー―越境する性』（新典社、2013年）があります。

清風館2階の奥にある研究所には、図書館にはない女性史や女性文化に関する書物がたくさんあります。関心のある人はぜひ一度来てください。

また、研究成果を一般向けにわかりやすく伝達する場としてシンポジウムを毎年開催しています。2015年度は「近代と女性の労働」というテーマで、女性の社会進出をめぐる問題について考えます。今の日本社会にとってきわめて重要な問題です。ぜひ参加してみてください。



女性歴史文化研究所所長
南 直人 教授

学生の学びや成長を支える

総合教育センター

総合教育センターは、教養教育やキャリア教育などを企画・立案し、日々の授業を運営する組織として2011年7月に設置されました。

このセンターには、「教養教育推進室」と「グローバル教育推進室」があります。

教養教育推進室では、教養教育科目群のカリキュラムの研究やクラス運営、担当の先生の配置などを行っています。

グローバル教育推進室は、留学の相談や海外プログラムの実施、キャリア教育や受け入れ留学生の教育の運営を担当しています。留学生と交流するスペースや留学関連の参考図書、語学関連の雑誌や図書があります。留学生交流会をはじめ、日本人学生と留学生がともに学び合う場を広げてほしいですね。



総合教育センター長(副学長)
北林 利治 教授

地域の方々の悩みを一緒に考える

心理臨床センター

優心館の1階にある心理臨床センターは、一般の方の悩みについて、心理学科の教員を中心とする専門スタッフが、一緒に考えていく相談室です。大人用の面接室が4室、子ども用のプレイルームが2室あり、地域の方々の心の健康のために、大学が役立てるよう運営されています。

たとえば、家庭や職場での人間関係、自分の生き方についてなどの悩みを相談される方がいらっしゃいます。不登校や子どもの成長に関することなどを、親子で相談に来る方もおられます。

そのほか、幼児と保護者のためのグループ活動や、対人援助職対象の講座なども開催しています。残念ながら学生の立ち入りはできませんが、優心館と中央体育館の間の通路を通るときには、相談の妨げにならないような、皆さんのお心遣いをお願いします。



子ども用プレイルーム



心理臨床センター
濱田 智崇 助教

地域住民の健康や地域の看護職を支援

看護異文化交流・社会連携推進センター

看護異文化交流・社会連携推進センターは、地域住民の健康を支援することや、地域の看護職を支援することを目的として活動しています。センターの活動には、看護学科の学生もさまざまなかたちで参加しています。たとえば、毎年大学祭で行っている「たちばな健康相談」では、学生が、参加された地域住民の方の血圧測定などを行います。また、看護職を対象とした講座や、海外の講師による講演会などにも、学生は参加することができます。

センターは清優館2階にあります。国際看護に関連したさまざまな資料が保管され、自由に閲覧することができます。センターに興味がある人、ぜひ活動に参加してください。きっと貴重な体験ができますよ。



看護異文化交流・
社会連携推進センター長
堀 妙子 教授

地域活性化のお手伝いをする

地域連携センター

地域連携センターは、大学が地域の核となるべく、行政や地域住民あるいは地域NPOとの連携を行い、まちが元気になるお手伝いを総合的にしている組織です。2014年に現在の体制となりましたが、その前身である文化政策研究センター時代から数えると15年もの長い実績があります。当初は大学のある山科地域の「地域振興・まちづくり」を中心に、たとえばまちの資源を発掘したり、地域イベントに関わる活動や教育・研究を行っていました。現在では、子育てや福祉活動など総合的な取り組みを展開しているほか、京都の町中や滋賀県にもその範囲を広げています。

場所は清風館の2階にあります。2015年4月からは醍醐地域の中山団地というところに分室をスタートさせます。



地域連携センター長
木下 達文 教授

現役看護師に教育を提供する

看護教育研修センター

京都橘大学看護教育研修センターの認定看護師教育課程についてご紹介します。認定看護師とは日本看護協会が認定する専門職制度です。

9年前に本学でも認定看護師教育課程を開設し、研修期間は5月下旬から約8ヵ月間、創傷・オストミー・失禁専門領域の第一人者による講義、技術習得のための演習などを社会人学習者として学ぶところです。もちろん修了試験もあります。

キャンパスでちょっと年齢の高い学生風(?)の人たちを見かけて、誰?この人たちと思うこともあると思います。この課程に入学する人たちは、5年以上の臨床看護経験を持ち、日々の看護活動で感じる「もっと勉強したい、しなければ」という高い勉強欲から、専門分野のスキルアップを目標としています。自己を高めることが人の役に立つという人生は素晴らしいと思いませんか?



認定看護師教育課程の演習風景



看護教育研修センター
認定看護師教育課程
判澤 恵 准教授・皮膚・排泄ケア認定看護師

京都橘の
気になる施設

大学に入学しても、意外と知らない施設や場所ってあるのではないだろうか。大学には皆さんがふだん関わるところ以外にもさまざまな施設があり、社会連携や皆さんの学びを支える取り組みを行っています。今回はこれらの施設をいくつか紹介します。

体 育 系

- 居合道部
- 弓道部
- 京炎そでふれ！部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- サッカー部
- 準硬式野球部
- 女子バレーボール部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- ダンス部
- 軟式野球部
- バドミントン部
- ハンドボール部
- フットサル部
- ラクロス部
- 陸上部
- 女子バスケットボール同好会
- ソフトボール同好会



弓道部



剣道部



硬式テニス部



卓球部



男子バスケットボール部



ダンス部

文 化 系

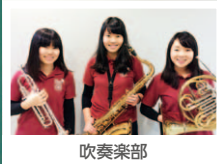
- 裏千家茶道部
- 演劇部
- 表千家茶道部
- 音楽研究部
- かるた部
- 着物部
- 写真部
- 書道部
- 吹奏楽部
- 箏曲部
- 美術部
- 文芸部
- 放送研究部
- 漫画研究会
- 歴史学研究会
- 和太鼓部
- 和洋菓子研究会
- アカペラ同好会
- 映画同好会
- エイサー同好会
- 考古学研究会
- 天文同好会
- ファッション研究同好会
- 料理同好会



裏千家茶道部



写真部



吹奏楽部



箏曲部



漫画研究会



和洋菓子研究会

ラクロス部



ラクロス部は先輩後輩の関係も厳しくなく、みんな仲良く活動しています。ほとんどの人が大学から始めるので、スタートラインが一緒です。初心者の方もスポーツをしたことがない人も、先輩が優しく指導するので大丈夫ですよ。また、ラクロスの試合や合同練習を通じて、他大学の学生との交流があり、交友関係が広がります。

活動日は週4回。主に大学グラウンドで活動しています。夏に行われるリーグ戦で勝つことを目標に頑張っています。少しでも興味のある人は、ぜひラクロス部へ！



岩本 知子 さん
人間発達学部
児童教育学科
新4回生

放送研究部



池内 奨太 さん
文学部
日本語日本文学科
新3回生

放送研究部は、結成して4年目のサークルです。いつも明るく、にぎやかで楽しいメンバーとともに、大学祭やイベントでの司会をはじめ、映像作品の制作や山科図書館での読み聞かせなどの活動を行っています。楽しそう、アナウンスに興味がある、こんな作品をつくってみたい！と思ったら、ぜひ放送研究部へ！ 放送活動の経験がなくても大丈夫。先輩たちがサポートします。みんなで一緒に頑張りましょう。

今後は、実績のあるNHK全国大学放送コンテストへの出品だけでなく、学生向けの映画祭などにも出品し、活動の幅を広げたいと考えています。

クラブ&サークル紹介

京都橘大学では、現在51のサークルや同好会、ボランティア団体が個性豊かでユニークな活動をしています(2015年2月現在)。回生や学部・学科を越えた仲間をつくるができるのが魅力です。興味のあるサークル・同好会・ボランティア団体が見つかったら、足を運んでみましょう。

女子バレーボール部



中田 唯香 さん
人間発達学部
児童教育学科
新4回生

女子バレーボール部は明るくて元気のいい人がたくさんいます。部員はバレーボールのことにになると、みんなうまくなりたいたい！勝ちたい！という気持ちを強く持って練習に打ち込んでいます。厳しい練習をしながらも、楽しんでプレーしています。目標は関西リーグや全日本インカレで優勝をすること！です。2015年度のシーズンに向け頑張っています。

女子バレーボール部は、バレーだけでなく、学業を頑張ることや充実した大学生活を送ることも大切にしています。大学でしかできないことをたくさんしましょう。

ボランティア団体

- 救急救命研究会
- 京都子ども守り隊〜守るんジャー〜
- 手話サークル
- スポーツリハビリテーションサークル
- ピアカウンセリングサークル
- 防災サークル



救急救命研究会

06 図書館の1F



図書館の1Fで特におすすめしたいのは、1Fだけにある「動く書架」です。そこには、専門性の高い書籍や研究書などが数多く所蔵されています。雰囲気も落ち着いているため、ゆっくりと書籍を探すことができます。

07 学生コミュニティ・研究棟(仮称)



2016年3月に新しく学生コミュニティ・研究棟(仮称)ができます！まだ建設中ですが、完成すれば5階建ての建物に大きな食堂や生協ショップ、研究室や講義室などが入らしい！今から楽しみです！



編集後記

今回、さまざまなおすすめスポットやルートを調べたことで気づくことや初めて知ること多かったです。新入生の皆さんに私たちがつくったキャンパスマップを参考にしてもらえとうれしいです！

(前列右から)
北村 美由 さん 人間発達学部英語コミュニケーション学科 4回生
清水 華菜子 さん 文学部日本語日本文学科 4回生
(後列右から)
山岡 祐斗 さん 人間発達学部児童教育学科 新2回生
大西 彩加 さん 人間発達学部児童教育学科 新4回生
藤井 丈夫 さん 現代ビジネス学部現代マネジメント学科 新2回生

05 研究室棟にある中庭



一人でゆっくりしたいとき、気分転換をしたいときは、研究室棟1Fの学生ラウンジの少し奥にある中庭がおすすめ！秋になると紅葉がきれいに色づき、見ていて気持ちが落ち着きます。さらに実はここ、京都橘大学随一の心霊スポットという噂が…？オカルト好きな方も一度足を運んでみては？

たちばなブログス タッフ presents

たちばなの歩き方

京都橘大学のキャンパスにはいろいろな建物があります。入学したばかりだと、どこに行けばいいのかわからず迷ってしまうかもと不安な方もいるのでは？そこで、たちばなブログスタッフがキャンパス内のおすすめの場所や移動に役立つルートを盛り込んだキャンパスマップをつくりました。

ルート3

清和館2Fの右側の扉から出て、階段を上がると図書館と児優館です。

ルート4

リパティホール3F出入口から右に進めばメディアセンターに。左に進めば第二体育館に行けます。

ルート2

清和館1Fから出て、スロープを下りると、正面にクリスタルカフェがあります。

03 クリスタルカフェの屋上



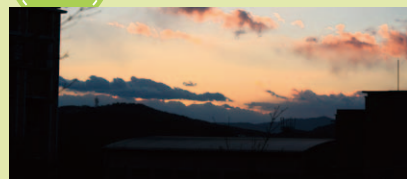
クリスタルカフェの屋上は日当たり最高！カフェで注文した商品は、屋上へ持ち出し可能なので、天気が良くて暖かい日には、ぜひとも屋上を利用してみてください。カフェの営業時間も自由に使うことができます。

04 学生ラウンジ



管理・特別教室棟2Fにある学生ラウンジは、いつでも自由に使えるフリースペースです。授業の予習・復習や友達との待ち合わせなど、みんな思い思いに利用しています。

08 バスロータリーからの景色



大学正門にあるバス停からの景色はおすすめです。4時限目の授業が終わった後にバスを待っていると、夕日が沈んでいくのが見えます。大学から見える絶景ポイントをぜひ楽しんでみてください。



ルート1

清和館1Fから出ると、目の前が明優館2Fです。明優館の1Fに下りて、奥のドアを抜けると清香館があります。清香館の横を通り抜けると、優心館・中央体育館に行けます。

- **ルート1** 清和館から明優館・清香館・優心館・中央体育館へ
- **ルート2** 清和館からクリスタルカフェへ
- **ルート3** 清和館から図書館・児優館へ
- **ルート4** リパティホール(ル・ビストロ[学生食堂])からメディアセンター・第二体育館へ
- **ルート5** 雨の日に便利な傘なしルート(清和館から管理・特別教室棟)
- **ルート6** 雨の日に便利な傘なしルート(清和館から清香館)

新入生へのメッセージ



学長
細川 涼一 教授

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。京都橘大学の教職員一同、皆さんのご入学を心から歓迎します。皆さんが大学生活を送る今日は、内外ともに不透明な状況を抱えた時代ですが、それだからこそ、皆さんが「臨床の知」を自分自身の力として獲得し、そのような自立した「個」がお互いに繋がりがあい、「共生」することによって、新しい未来を築いていくことにもなるのだと思います。私たち教職員も、皆さんの人間としての成長のために全力をあげてサポートしていきたいと考えています。京都橘でのこれからの4年間で、未来への希望に満ちた充実した学生生活になりますことを期待します。



人間発達学部長
浅井 雅志 教授

ご入学おめでとうございます。新入生の皆さん、大学は天国です。しかしそれは、それなりの努力をすれば、の話です。ここにはこれまで経験しなかった種類の自由があり、やる気さえあれば経験の幅は大きく広がるので、さまざまなことにチャレンジして下さい。そして、それがおもしろかったかどうか、自分にとってどんな意味があったのか、常に検証して下さい。関心の持てることを探し、多くの人と知り合い、新しい人生を手探りで歩き始めてください。それを地道に続けていけば、大きな未来が開けてくることでしょう。成長を期待しています。



看護学部長
遠藤 俊子 教授

ご入学おめでとうございます。看護学部は満10歳を迎えました。京都橘大学の看護学部は「人によりそう看護を実践し、看護を創造できる看護職」をめざして、学生・教職員は共に学びあう存在です。大学は、自分の意思で科目を選び、未来の向かうべく方向に舵取りをするのは皆さん自身です。看護キャリアの出発点である今日の思いを大切に、未来に向かって、自他ともに認めながらともに歩みを進めましょう。

入学する君たちは、どのような大学生活を思い描いているだろう。君たちはこの大学で、新しい友や師に出会い、新しい経験に遭遇して、新しい知を積み上げ、新しい人間に育ってゆく。自己実現を声高に唱える風潮のある昨今だが、どんな小さなことでもそれは自己のみで叶えられるものではない。他者との関係性の中で、自己は確認され、実現されてゆくものだ。「人との関係」を基軸にそれぞれの知の体系を紡いでいくこと、それが文学部における学びであり、君たちがそうした学生であることを期待している。



文学部長
増渕 徹 教授

現代ビジネス学部では、社会に欠かせない多様なビジネス＝仕事を探求します。企業ビジネスのほか、消防署や市役所の第一線公務員も公共のビジネスです。いままさに、あなたが新入生としてキャンパスに入れば、そこはもうビジネスの真髄を学ぶ劇場、あなたは舞台に立つ役者。同級生、先輩、教職員、清掃・生協スタッフ、訪問者…さまざまな人たちと同じ舞台にいます。まずは朗らかな挨拶と微笑みを！それがあなたへの最初の演出です。



現代ビジネス学部長
小暮 宣雄 教授

ご入学おめでとうございます。みなさんをお迎えでき、大変うれしく思います。健康科学部の学生のみなさんは、将来専門職業人を目指す人、企業での活躍を希望する人、行政の分野で人の役に立ちたい人などさまざまな夢をお持ちでしょうが、これからの4年間はどの人にも大切な出会いがたくさん待ち構えています。友人、教職員、先輩、後輩、はもちろん、多くの理論や著書にもすばらしい先人が宿っています。素敵な出会いに恵まれますよう、祈ってやみません。すこし勇気をもってドアを叩いてみましょう。応援します！



健康科学部長
日比野 英子 教授